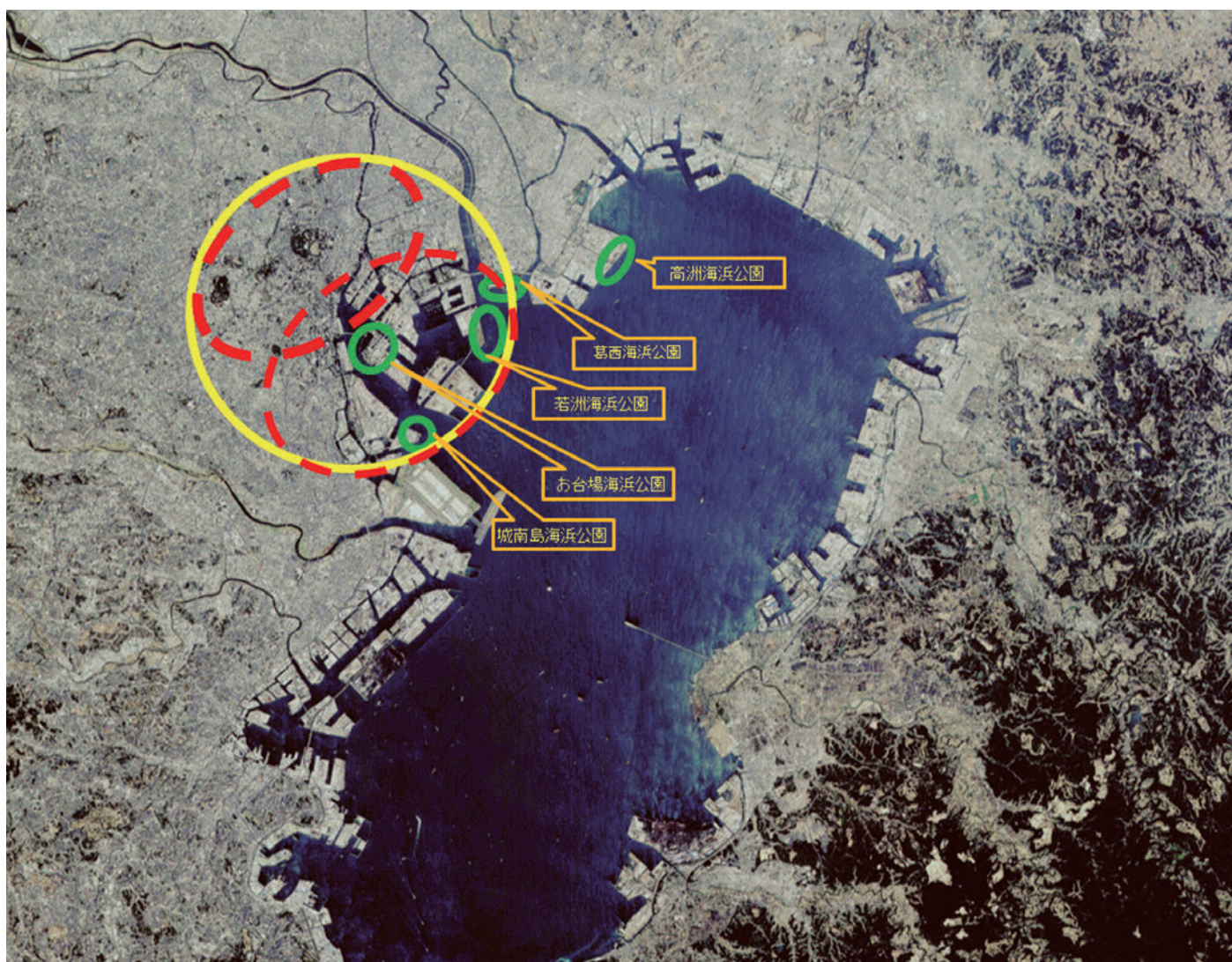


オリンピックエリアのもう一つのおもてなし —東京湾北部の海浜公園—

東京湾北部には、公営の臨海・海浜公園がいくつかあり、首都圏の人々の憩いの場となっている。2020年のオリンピックは7月末から8月にかけて東京で開催されることとなったが、この季節は、東京周辺では最も暑い日々となる。猛暑の日々だからこそ海辺で潮風や干潟に遊ぶ水鳥を眺めてほっとするひと時を過ごしてもらうのもひとつの「おもてなし」ではなかろうか。



衛星データ ©JAXA Distribution PASCO
「だいち」からみた東京湾周辺 2011年4月

2020年オリンピック・パラリンピック招致委員会のブローシャによる選手村から8kmのエリアが黄色の円で示してある。東京ベイゾーンには、葛西海浜公園、若洲海浜公園、お台場海浜公園、城南島海浜公園があり、そのいくつかおよび周辺の公園や施設はゲームの会場として予定されている。

真夏の日本は高温多湿で厳しい時期ではあるが、打ち水をし、水辺に遊ぶという古来の過ごし方も海岸に発達した大都市の伝統として楽しんでもらえれば嬉しい。